

よいことのために手をとりあおう

2025～26年度 国際ロータリー会長メッセージ

▶例会日：第1・第3木曜日（12：30）  
その他の木曜日（18：30～19：30）  
▶例会場：白河市新白河駅前 東京第一ホテル新白河  
▶事務局：〒961-0957 福島県白河市道場小路96-5  
（白河商工会議所内） ☎23-3101 FAX22-1300

ホームページURL <https://shirakawa-west-rc.jp>  
メールアドレス [yoshida@shirakawa-cci.or.jp](mailto:yoshida@shirakawa-cci.or.jp)  
facebook <https://www.facebook.com/ShirakawaWestRotaryClub/>

会長 藤田 龍文  
幹事 運天 直人

創立1986年



# 白河西ロータリークラブ

SHIRAKAWA WEST ROTARY CLUB

第1865回例会 | 令和7年8月21日  
12:30～13:30

創立40周年

○ソング

- 我等の生業

○ビジター

米沢RC

- 会長 島貫正弘様
- 幹事 平山順一様
- パストガバナー 齋藤榮助様
- 次年度ガバナー補佐 吉澤彰浩様
- 渉外友好委員 羽生吉弘様
- 財団米山副委員長 佐藤清一様
- 会員増強副委員長 鈴木丈教様
- 副幹事・プログラム委員長 安部徳朗様

○スマイルBOX

- 藤田龍文会長（本日は米沢中央RCの皆様、ご来訪ありがとうございました。今後とも末永いお付き合いよろしくお願ひ致します。）
- 運天直人幹事（米沢中央RCの皆様、本日はご来訪ありがとうございました。）
- 永野文雄会員（米沢中央クラブの皆様お久しぶりです。よくおいで下さいました。23日24日のCKB野球大会の成功をお祈りします。）
- 宮本多加夫会員（米沢中央ロータリーの皆さんようこそ、今後ともよろしくお願ひします。）
- 関谷亮一会員（米沢中央ロータリークラブの皆様ようこそおいで下さいました。齋藤榮助様卓話ありがとうございました。米沢市も大変暑いでしょう。もう少しです頑張らしましょう。）
- 成井正之会員（米沢中央RCの皆様ようこそ今週の大谷スマイルは8/10 40号、8/11 41号、8/12 42号、8/13 43号、8/20の44号です。今日は先発ですが、結果まだです。2年連続50本まで後6本、夢のような活躍です。GO、GO大谷）
- 大竹憂子会員（米沢ロータリーの皆さんようこそ、先々週は、お世話になりました。）
- 十文字光伸会員（本日は米沢中央ロータリークラブの皆様、ご来訪ありがとうございました。）
- 鈴木浩一郎会員（お誕生日のお祝いありがとうございました。今後も無理せず、程よく出席したいと思います。）
- 山縣榮寿会員（本日もスマイル スマイル スマイル ありがとうございます。）

【今週の仮メイクアップ会員】

- 8月18日 米沢RC訪問  
藤田龍文、運天直人、金田昇、齋藤孝弘、矢田部錦四郎、大竹憂子、大住由香里、齋藤愛、兼子聡、堀田一彦、吉成真五郎、十文字光伸
- 8月18日 白河RC訪問  
金田昇
- 8月19日 須賀川RC訪問  
金田昇

▶第1865回例会出席状況

(R7年8月21日)

Ⓐ 出席免除を受けていない正会員数	54名
Ⓑ 出席免除の適用正会員数	18名
Ⓓ 全正会員数	72名
Ⓒ ①の出席者数	26名
Ⓔ ①のメイクアップ者数	0名
Ⓔ ②の出席者数	14名
Ⓒ = Ⓒ + Ⓔ + Ⓔ (メイクアップ補填後の出席会員数)	40名
Ⓕ = Ⓓ - (Ⓑ - Ⓔ)	68
Ⓖ = Ⓒ / Ⓕ × 100 (例会出席率)	58.8%

## 本日のプログラム

### ■会長の時間

藤田龍文会長



皆様、こんにちは。本日は米沢中央ロータリークラブから9名の皆様がおいでいただきました。本当にお暑い中お越しいただきまして誠にありがとうございます。それでは、早速ご紹介のほうをさせていただきますと思います。

まず、会長の島貫正弘様。そして、幹事の平山順一様。そして、本日卓話もいただきますパストガバナーの齋藤榮助様。そして、パスト会長、次年度のガバナー補佐の吉澤彰浩様。そして、パスト会長、渉外友好委員の羽生吉弘様。パスト会長、財団米山副委員長の佐藤清一様。パスト会長、会員増強副委員長の鈴木丈教様。そして、副幹事、プログラム委員長の安部徳朗様。先週、私ども白河西ロータリーは米沢中央様のほうの例会にお邪魔させていただきました大変お世話になりました。そして、うちのほうの女性会員3人が卓話をさせていただくということになりまして、大変その3人も貴重な機会をいただいて本当に良かったと喜んでおりました。例会終了後、皆さんと懇親を深めさせていただいて、そのあと記念植樹のほうを拝見させていただきました。姉妹締結から35年経ちました。何回かお話はさせていただいたんですが、ちょうど35年前白河西ロータリーはうちの父の藤田弥五兵衛が会長で関谷亮一さんが幹事と。そして、米沢中央さんは猪俣会長と本日卓話をいただく齋藤榮助様が幹事ということで、当時のパストガバナーである九里茂三様のお引き合わせのご縁で姉妹締結をさせていただきました。そしてもう早いもので35年ということで、うちのクラブも当時の会員の方は今は5名いらっしゃいます。ですので、当時の現場にいた方もいらっしゃいますし、おそらく米沢中央さんのほうにも何名か当時の姉妹締結をさせていただいた方がいらっしゃるかと思います。そういった先輩から少し当時のいろいろなお話をいただいたり、私どもも先日米沢中央さんの弓道場で植樹してある場所。そこに行った時に、当時はおそらく白河市の木の梅の木を植樹させていただいたんですが、本当にもうさすがに35年経つととても大きくなっておりました。やっぱり35年の歳月というのは、やはりなかなかもんだなというのを植樹を見ながら感じておりました。そして、米沢中央ロータリークラブさんが植樹していただいたのは白河の小峰城という所で、今画面に今日ちょっと行っていただくのはちょっと暑いので朝行って写真を撮ってきたんですが、なかなか新しい会員の方は見た方が少ないかもしれないんですが、小峰城公園の集古苑の入り口のすぐ隣にこれコメツガという木ですね。コメツガという木は米沢市の木ということでコメツガの木を植えてありまして。こちらまさすがに35年の月

日が経っておりますので、とても元気よくすくすくと伸びております。ちょっと剪定が必要だなと思いましたが次ですね、米沢中央さんがいらっしゃった時にはもうすっきりと、うちに「堀田造園」さんというとても優秀な造園業者さんいますので、そちらのほうですっきりさせていただいて、今少しアップしてありますがこちらが友好の平成3年ですからね。35年前ということで、その時に植樹した米沢の、これ今朝の映像です。今ちょうどですね、大河ドラマ、「べらぼう」の主人公が田沼意次の部分と蔦谷重三郎ですね、その時の前後で白河市にゆかりがある松平定信が出てきておりますので、今そちらも「べらぼう展」というのの先日から企画展始まりましたので是非お時間のある方はそちらもお寄りいただいて、この記念植樹のすくすく伸びたコメツガの木を見ていただければと思います。それでは先日理事会で決定したことも少し皆様にお知らせしたいと思います。本年度からですね、公共イメージの向上ということで昨年までやっておりましたフェイスブックとかそういった部分もう少しこう裾野を広げたSNSの更新をしようということで、一応途中までは始めてみたんですが、昨今のいろいろな個人情報問題がありまして、先日一応理事会で協議させていただいて、近いうちにクラブの会員の皆様全員にSNSの掲載の同意書というのを皆様に一筆いただくと。どうしても駄目だという方はご遠慮していただいても構わないんですが、もちろん公式な場のみ撮影の掲載になりますので、二次会三次会等のはあげませんのでそういったところではお約束して、その部分のお顔とかが映ってしまったかどうかというのをちょっと同意をいただくというのを近いうちに流させていただきます。それと、今週末今年で12回目になる、皆様のロッカーにもう今日入っておりますがCKBチャレンジ県南ベースボール大会が今週の土日に泉崎のグラウンドで開催されます。こちら、40周年記念ということでいつもの試合の他に、子供達に全クラブに西ロータリークラブの刺繍入りのボールケースと、そして最近連合チームってなかなかやっぱ少年野球も数が少なくなってきておまして、一つの学校でチームが作れきれないというところで連合軍があるんですが、そういったところのキャッチャーの防具セットというのを40周年記念として皆様にお配りするようにはしましたので、そういったところもちょっとはございますし、ちょうど今甲子園の準決勝ということで、今日も岐阜商業と、岐阜商業は一回戦、山形の日大山形に勝ったところでありますし、今ちょうど試合やってる山梨学院は我が福島県の聖光学院を破ったところが今ちょうど沖縄尚学とやっておりますので。私ども姉妹クラブが沖縄のコザも姉妹クラブでありますので、何とも沖縄尚学ちょっと応援したい気持ちも姉妹クラブの関係であります。今ちょうど回半ばくらいになってるんでしょうかね。そういったところで、明日の決勝は日大三高とそちらの勝ったとこ

ということで、皆さん気になるところかもしれませんが週末は、是非高校生じゃなく中学生の少年野球も少し皆さん気にしていただいて、お時間のある方はお集まりいただければと思います。それでは本日島貫会長のお話とそして齋藤榮助様の卓話をいただくということですので、楽しみにしておりますのでよろしくお願いいたします。

## ■幹事報告

運天直人幹事

○米山記念奨学会委員長 菅野秀士 推進委員長 佐藤典裕：米山奨学生の卓話依頼について

○米山記念奨学会委員長 菅野秀士 推進委員長 佐藤典裕：奨学生卓話に対する謝礼について

○米山記念奨学会事務局長 峯純子：ハイライトよねやま305号

○ガバナー 泉田征慶 職業奉仕委員長 田代行孝：2025-26年度職業奉仕委員会セミナー開催のご案内

○ガバナー 泉田征慶 ラーニングファシリテーター 佐藤正道：ファシリテーション研修会開催のご案内

○株)シン鹿島 代表取締役 青木大：「グラウンドオープンレセプション」開催のご案内

○白河赤十字奉仕会長 安澤荘一：令和7年度「防災セミナー」開催について

○白河南RC直前会長 西牧拓人：白河南ロータリークラブ週報の送付について

○地区大会実行委員長 中西總一郎 地区大会プログラム委員長 小丸真司：地区大会挨拶分原稿のご依頼

○米沢中央ロータリークラブ会長 島貫正弘：例会卓話ご講義の御礼

## ●米沢中央ロータリークラブ会長

島貫正弘様



皆様、こんにちは。只今ご紹介いただきました、今年度会長を仰せついております島貫と申します。よろしくお願いいたします。まずもって、2週間前の8月8日に藤田会長様はじめとする総勢12名の方々、米沢市までお越しいただきまして本当にありがとうございました。また、今日は当クラブより8名で訪問させていただきました。最後までよろしくお願いいたしますと思います。今年度は白河西さんが40周年の節目の年ということをお聞きしております。本当に心よりお喜び申し上げます。来年の開催されます周年記念には当クラブからも多数参加させていただきたいと思っております。よろしくお願いいたします。さて、当クラブの発足は白河さんの一年遅れでしたので、来年度が私どもの40周年の節目となります。昨年白河の会長でした阿部直前会長様が39年の語呂合わせとしてサンキューという話をされておられました。私もそっくりそれを使わせていただいて、今年度迎えさせていただいたところです。今年度の

我々のクラブのテーマですが、やはりサンキュー感謝の一文字をちょっと入れました。「これまでのすべてに感謝し、笑顔で融和を大切にこれからも・・・」とさせてもらいスタートさせてもらいました。私の年度は40周年に向けた準備の年度とっております。サンキュー感謝の気持ちを大事にして40年を迎えられるように充実した年度としたいとっております。また来年度は、御クラブの金田ガバナーエレクトが白河西の初のガバナー輩出とお聞きしています。当クラブの40周年の節目と一緒にするわけですが、偶然とは思いますがやはり姉妹クラブという深い結びつきを感じるところでございます。金田ガバナーエレクトにおかれましては、健康に留意していただいてガバナー年度に向けて活動とご活躍をお祈り申し上げます。以上、挨拶をさせていただきます。ありがとうございます。

## ■各委員会報告

### ●青少年奉仕委員会

島田修一委員長



皆さん、こんにちは。今年度、青少年奉仕委員会の委員長を務めております島田と申します。先程会長のほうからごさいましたが、今週末8月23、24日チャレンジ県南ベースボール中学校野球大会、本日皆さんのレターケースのほうにもパンフレット出来上がったのでお入れしてありますのでご覧いただきたいと思いますが、本当に今甲子園、高校野球のほうが盛り上がりまして、それ以上にその当日23日ですが第一試合目の始球式になんと我が会長藤田龍文投手が始球式をおこないます。おそらく高校野球球児よりいい球を投げてくださいと思いますので、皆さんも是非ご覧になって応援のほうをさせていただきたいと思っております。それでは23日、7時30分より開会式始めますので皆さんの参加のほうをお待ちしております。よろしくお願いいたします。

### ●国際大会参加強化プロジェクト委員長 兼子聡会員



皆さん、こんにちは。また、島貫会長はじめとする米沢中央の皆様、先週は大変お世話になりました。また今週もどうぞよろしくお願いいたします。それでは、国際大会の案内のほうをさせていただければと思います。本日、皆様のお手元のほうに案内状のほうを置かせていただきました。来年の話になるんですけども、来年6月13日から17日にかけて台湾の台北のほうで国際大会が開催されます。そこに白河西の皆さんに多く参加をしていただきたいと思って案内を差し上げているところでございます。一応本体としましては6月13日に行きまして、その日の夜は

白河西ナイトみたいな形で懇親を深め、メインが6月14日日曜日になるんですけども、早朝から日本人の朝食会に参加をいたしまして開会式に参加しまして、最後ガバナナイトここで、泉田ガバナーと当クラブの金田昇会員のバッチ交換会が開催されます。ここですね、白河西クラブで設営をするものですから、ここに多くの皆様に参加をしていただきたいなと思っております。費用等につきましては、ちょっと半年くらい前にならないと最終的な金額というものが出てこないもので概算ではありませんけれども、想像よりも円安と今の物価高、またロータリーの国際大会の時期ってというのはどうしても値段が高くなるようございまして、概算の値段を書かさせていただいておりますし、大会の登録料につきましても12月15日までと16日まででは100ドル近くの値段が変わってきますので、早期の登録をお願いしたいところでございます。その中で一年ぐらい先の話でございますので、今現在といたしまして遠くであったり飛行機で行くので参加できないかなという方は参加できませんのほうに○を付けていただいて、少し興味ある方につきましては参加してみたいですのほうに○を付けていただいて、自己手配で行くかロータリーの手配で行くか、またエコノミーで行くかビジネスクラスで行くかというところを選んで書いて出していればと思います。本日、早速わかる方は受付のほうに置いて帰っていただいて結構でございますし、お悩み中の方は9月3日の日までにファックスで返信をしていただければと思いますので、どうぞ趣旨をご理解いただいでご協力をよろしくお願いいたします。

#### ■本日のプログラム

##### ●米沢中央ロータリークラブ会長 島貫正弘様

改めまして、今年度会長を仰せつかってます島貫です。よろしくお願ひしたいと思ひます。最初に、米沢市の伝統産業でもあります米沢織をちょっと紹介させていただきたくて今回ちょっとお邪魔しました。ということで、ちょっとDVDのほう5～6分ですけども見ていただいてからお話をさせていただきたいと思ひます。よろしくお願ひします。

～～DVD上映～～

はい、鑑賞ありがとうございました。ちょっとDVDのほうがちよつと今から何年前ですか7～8年ぐらい前のDVDでして、先程の出てきました鈴木ケンタロウ君という方いらっしやったんですけど、彼は今起業されて個人で生地の販売をされてる方になっております。ご紹介したのは私、生業は織物の原料となる糸の卸しをやっております。一番最初のスタートになります川上の状態ですね、その仕事をやってるんですけど、そこでやっぱり糸をつまずいたりしますとやっぱり織りにも影響しますし、染めにも影響して最終的に製品が良い商品が上がってこないという

ことで、私の仕事としてはかなり繊細なところの仕事をさせてもらっております。扱ってる糸ですけども、もう本当に様々です。シルクあり、綿あり、麻あり、合織であればポリエステルもあつたり、ナイロン、アクリル、その他レーヨン、アセテート、とか様々な糸を扱っております。これも糸を組み合わせるとなるともう無限大に糸は開発できます。そういった事で私も25歳の時にこの業界に入りまして、ちょうど私今64歳なので約40年この仕事に携わってるわけですけども。サラリーマン時代が25年間ありまして、50歳の時に勤めていた会社が繊維部門を撤退したりということで、そこの商権を私が引き継いで今現在に至っております。DVDでもご紹介ありましたが、和装から洋服地まで様々な物を米沢織で生産してるわけですけども、私の一応メインの売り先としてはどちらかという広幅織物の洋服地。あとはネクタイの生地。あとは、マルアミのニッタさんにもお世話になっております。ちよつと話は変わるんですけども、皆さんご存じかどうかですけども合織メーカーで「帝人」という会社、大手の「帝人」さんの会社があります。この「帝人」さんの発祥の地は米沢だったことはご存じだったでしょうか。記念碑もありますので、今度ちよつと見に来ていただきたいと思ひます。実は大正6年に、日本で初めて人絹、人の絹と書いて人絹ですけども、今はレーヨンという名前になってますけども、レーヨンの成功したのが米沢の地で「帝国人造絹糸株式会社」。後の「帝人」ですけども、それが創設されて昭和6年まで米沢の地で操業しておりました。その後の経過としてはちよつと私ははっきりちよつとわかってないんですけども、操業停止に至った経過としてはおそらく公害問題のクレームがちよつと出たんじゃないかなという説もあります。現在、「帝人」の工場は愛媛県の松山です。私も2～3回工場のほう見学した時あるんですけども、ここの敷地はもう広大な敷地です。ちよつど工場の隣には、松山空港がちよつどありまして、この松山空港自体も「帝人」の所有のものになってて本当に広い土地でした。これもしもの話ですが、「帝人」が本当に米沢に残っていたら今どうなつたかなと考へた時があります。おそらく米沢織は現在と同じく米沢織としては存続はしてると思ひますけども産地の規模です。産地の規模はおそらく北陸産地並みの大きさの産地になっていたような気がします。過去は過去としてですけども、米沢産地は単なる織物産地ではなくて、小さくてもきらりと光る産地。オンリーワンの産地を目指して今頑張つてるところでございます。是非皆様には米沢織の商品購入していただいて身に付けていただきたいと思ひます。すいません。以上で卓話とさせていただきます。ありがとうございました。

## ●米沢中央ロータリークラブパストガバナー 齋藤榮助様



皆さん、こんにちは。ご紹介いただきました齋藤榮助と申します。今日はこんなはずではなかったということをお最初に申し上げたいと思います。実はうちの幹事から明日白河のほうに行くんだけども、ちょっと女性の数が少ないのでお前ちょっと少し時間稼ぎをしろと。何故ならば、うちのほうのクラブに来てくださった時にガバナーエレクトの金田さんがあのぐらい話したじゃないかと。その返礼の意味があつてそれでお前も喋らなきゃいかんと、こういうふうに言われたところでございました。この前金田さんがいらした時と同じネクタイと同じバッチを付けてきたんですが、今日はまだお見えになってらっしゃらないようなので、ちょっと残念なんで、まあそんなところでございました。まず、先週本当に数多くの皆様方から米沢中央のほうに来てくださりまして本当御礼を申し上げたいと思います。ありがとうございました。私はちょうど今から5年前、郡山の石黒さんがガバナーした時に同期のガバナーをいたしました。ちょうどその年はコロナが発生するという大変な年度でございましたので、やりたい事もほとんどできないままに終わった、そんなようなガバナー時代でございました。ただこちらの白河さんとは先程藤田会長さんからお話がありましたように、お父様の時とうちの猪俣、それからその時の幹事の関谷さんと私が幹事同士で、それが10年度にも同じような形で会長とやったということで、大変因縁あるそんなことで長い事お付き合いさせていただいたことに心から感謝申し上げたいと存じます。先程、会長さんからのお話で沖繩尚学がいいか山梨学院がいいかといった時に、うちのほうは甲府西ロータリーと友好クラブでございまして、これまた複雑な感じということでございます。それでその中でお話の中でコメツガの話が出てまいりました。これは実はこのコメツガというのは市の木であることは間違いないんですが、高山植物の一種でございまして高山植物。非常に平地でそれを育てるのは難しいと、こういうふうに言われておりました。実は私の前のガバナーでありました大友、これは大変そちらのほうにも詳しい人です。彼なんかに言わせると本当にこれは平地に植えて、そして成長してくのは難しい木なんだということを言っておりました。それが先程ご紹介いただいたように繁々としてのものもこれもすべて白河西ロータリークラブさんの愛の賜物かなというふうに見せていただいたとでございました。今度の10月26日の地区大会、実は私も一昨日の日に申し込みました。浪江ロータリーのほうに行つて一緒に皆様方と楽しんでいきたいというふうな思っております。それから、先程から話になっております40周年、本当におめでとうございました。次の年は私共も頑張つてやりたいと思ひますし、その年はガ

バナーを出されるクラブとして大変お忙しい一年を過ごされるのではないかと申しております。体を壊さないような形でさせていただければというふうな思っております。実は今日、ちょっと皆様方にこんなはずではなかったんですが、ちょっとまあエピソードの一つとして見てもらつてもいいかなと思つたところをプリントしてきましたので、ちょっと見ていただければというふうに思いました。何故こんなものを出したかという、まずこれは、皆様もお持ちだとは思ひますがロータリー情報ハンドブックの中の1ページ、そのページのどこをただプリントアウトしただけの話です。何故こんなものを出したかという、実は我々日本のロータリーというのはこの東京ロータリー初代の時のイメージが相当今でも残つてるのではなからうかなということ、ちょっとおささせていただきますのです。本当にエピソードというか小話というかそんな感じで来たんであんまり深い意味はないんです。ご存じのとおり1921年に東京ロータリーができました。ちょうどその年というの大正10年で、原敬が東京駅で暗殺された年でございます。その後、2年後に東京大震災が発生いたしました。そして、その前の年1920年が日本が国際連盟に加入して理事国になつたという、本当にちょっと複雑なそんな感じ。あとは脱退したというのは皆さんご存じのとおりだろうと申しております。そして、ちょうどその年に実は明治神宮がその年に作られまして、何故ここで明治神宮かという、実はその設計をしたのは伊東忠太という米沢出身の旧帝国大学、今の東大の文化勲章貰つた設計士があつた明治神宮を作つた男なんです。それで前の年に作つたというので、ちょっとここでPRをさせていただきたいということでございました。そして、その伊東忠太というのは平安神宮を作つたり、築地本願寺を作つたりという、建築学では本当に日本で第一回目の文化勲章をもらったという男なものですから、日本の建築をずっと引っ張つてきた男だろうという、そんなのがちょうどできたものですからちょっとここでPRをさせていただいたということでございました。さて、この表を見て皆様ご存じでしょうか。米山梅吉さんというのは皆さんご存じの「三井銀行」の重役をしてまして、その後で「三井信託」を起ち上げた人だというのはよくご存じだろうとかように思ひますが、ですから、最初の創立会員がここにぐーっと名前がございまして、こら辺のその会社名を見られると、まさに凄いと申すかこういふ会がよくできたものだというそんな感じがしたんです。まあ上のほうから行きますと「日本銀行」です。それから、次の「日本製麻」というのは今でもあるんですが、もちろん一部上場なんですけどもちょっとあまり皆さんご存知ではないと思ひます。「三井物産」「明治生命」これはもう皆さんご存じだと思ひます。その後の「内外興業」というのは今でもやってらっしゃいますが、これもちょっと少しこれも時程ではない。それから「東京

市電気局」の局長、それから、次に「北海道炭鉱」というのは三井財閥グループが北海道に全部炭鉱を持ってた。それを全部まとめた会社だということでございます。次に「日本郵船」これは今でも大会社としてございます。次に「日興証券」これもあります。「日本製鋼」これも今、品川のほうに移転、一部上場会社としてございます。「正金銀行」というのは今の「横浜銀行」ですね。それから、「芝浦製作所」これは「東芝」。それから、北島商会通り越して「三井」「三越」これこそ皆さん一番有名。それから「三井鉱山」。それから次置いて「興業銀行」これ「日本興業銀行」です。今では合併しましたけど「みずほ」の中心銀行だとしてなっております。次の商科大学の学長、これ誰かと思って調べたら今の一橋大学の初代学長なんです。次に「清水建設」です。それから「東京日日」というのは、これは今の「毎日新聞」です。それから「富士紡」。それから、最後に米山梅吉さんの「三井銀行」と。まさにこちら辺を見ますと、選ばれた人たちだけです。この会合、こちら辺を知っておくと今の日本のロータリークラブの感覚というか一つの生業みたいなのがここで物凄い色濃く出てきてるのではないかというふうに思います。皆様、なんだっけ名前が、80過ぎると名前が出てこなくなるんですが、ロータリーを作った、ポール・ハリスか。ごめんなさい、年取りたくないものですが。ポール・ハリス作った時の仲間とはちょっと違うのかなど。あの時はシカゴの町での一弁護士とそれらの人たちが集まって、それでもより良いちょっとトップに特化したそういう人たちの集まりを作ろうと言った時と、いわゆる日本の国を代表する「三井財閥」の中の超一流の人たちだけを集めて作ったのでは、やっぱりそこに多少の流れというのは違ってきてるんだろうというふうに私なんかは考えるのです。つまり、奉仕活動においても、この人たちは奉仕活動なんか何もする必要ないわけです。そして、先程会長さんからもお話が出ました公共イメージアップっていつでもです。彼らにしてみたら、もう公共イメージをしながらこのロータリークラブを素晴らしい会にしてこうなんていうことは、あまり考えなかったのではないかと。それから、金銭的な問題は一切考えなかったらうというふうに思うのです。それ以上に、財界人を次に大阪に作ったり、京都に作ったりいろいろとロータリーをこう増やしていくわけですが、まさにその時は財界人を中心として形作られたというのは当然の成り行きだろうと。こういうふうに思うのです。それは良いとか悪いとかではないということだけのご承知おきいただきたいんですが、そういう中で育ってきた日本のロータリークラブというのは一時、1940年頃の第二次世界大戦の途中で中座するわけですが、その後また再発足するわけなんですけども、やはりこういう人たちを集めてこの会を成り立てていこうというのは、私はほとんどそのままその精神は色濃く繋がってきたのではなからうかなとこう

いうふうに思ったのです。そして、なもんですから初代、日本で最初に作られた方々のその肩書だとかその人達を少し考えてみると、ちょっとこの成り立ちというか面白いというか、他のアメリカや何かの人たちのロータリーに対する感覚とやっぱりちょっと違うかなという感覚を私なんかは持っております。この後ろの所に3行4行の所に書いてありますが、エリート中のエリートから選ばれた大企業の社長や重役といった顔ぶれが並んでいると。今申し上げたとおりでございますが戦前の日本のロータリーは功成り名を遂げた財界人が入るクラブという錯覚を生み出すという。そして、更に社会的地位とロータリアンの質とを混同する過ちを犯すことになりまして。ここが我々これからロータリー活動をこうどんどん裾野を広げていこうとする時に、このところをやっぱり絶えず頭の隅に置いていかれる、そうやって生きて裾野を広げていかないと、往々にして一般の人たちからまた間違った形でのあれがこう見られがち、そのような形になるといけないというふう感じたところでございました。まさに、選ばれた方々が色濃くて、そしてこれからはやっぱり垣根を低くして、そしていわゆる奉仕活動を中心とする人達を末広く裾野を広く持って行って、その代わりこの所にもちょっと書いてございますが、その下の所に財界人であるがゆえに金銭を介する物質的な相互扶助の必要もなく、米山梅吉の方針に訴えロータリーの奉仕哲学の探求に真摯な態度で取り組むと。これだけはやっぱり残しながらというのは、これは本当に大事な事だろうと思っておりますが、これをしながらいわゆるこれからのロータリー活動というのを裾野を広げていければなというふうに感じてるということをちょっとこう申し上げて、皆さんの一助になればいいなと思ってお話をさせていただきました。ちょうど25分になりましたので、ちょっと言葉足らずのところ数多くありますけども、時間の内ではこれぐらいとさせていただきます。今日はありがとうございました。



例会後の懇親会（ティールーム高山）